

【礼拝賛美】 大いなる方に

(★↓★↓※の順で歌う)

★大いなる方に 感謝ささげます
御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます
御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと
勝利の主が 共におられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると
恵みの主が 共におられる
(★くりかえし)

※感謝します

・夏休みもたけなわです。帰省や旅行でお出かけになる方も多いでしょう。暑さもまだまだ厳しさが続きます。老いも若きも子どもたちも、熱中症や新型コロナウイルス、病気や事故、過ちから守られるように、お互いのために祈りましょう。

9月には月初に創立記念礼拝、月末には召天者記念礼拝と墓地礼拝が予定されています。陽気が落ち着いて多くの兄弟姉妹と共に集まれることを期待します。

・林眞光修養生 ホザナキャンプではキヤンプリージャーを務め、先週は奥多摩バ イブルシャレーの主催キャンプ(2泊3日)でスタッフとして奉仕。今週は聖宣神学院主催のプログラム(1泊2日)で奉仕します。来週は前半が霊修会、後半は小学科キャンプ。まさに「キャンプの夏」を送っています。霊肉が支えられ、主の器として成長する機会となるようにお祈りください。

また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。

テサロニケ人への手紙第一 1章9、10節

テサロニケ教会はパウロが第2回伝道旅行の時に伝道したことで設立されました。聖霊の導きを得てマケドニアに渡ったパウロでしたが、行く先々で迫害に遭いました。しかし苦難の中でも救われる人々が起こされ、次々に教会が建てあげられました。その中でもテサロニケ教会はパウロをして周辺地域の教会の「模範」(一七)と言わしめるほどに成長していました。

テサロニケ教会のどんなところがそのような評価を生んだのでしょうか？

注目したいのは、テサロニケ教会が主の再臨を待ち望んでいたということ。聖書は天に帰られたキリストが再び世に來られると再臨について示しています。再臨はキリスト者にとって大切な教えであり主の約束です。神の救いの計画とは、私たちが救われて罪赦され、再臨の主と共に永遠の神の国に住まうところにまで及びます。再臨を待ち望むことが欠落すると、この世りかねません。再臨に対する理解が健全で

あるなら、その人は苦難にも堅く立ち続けることができず。再臨はキリスト者の究極的な慰めと希望です。テサロニケ教会はパウロが去ったあととも迫害に晒されました。それに負けずに立ち続けたのは、再臨への確かな望みを握ったからです。

一方、再臨については落ち着いた理解が必要です。テサロニケ教会の一部の人々は、主の再臨が今にも起こると自分勝手に理解して、日常生活を疎かにするなど浮世離れした生活に陥りました。現代も、再臨について強い興味を示す人々が終末について煽るような言動をすることがあります。再臨についての極端で行きすぎた理解は過去にもカルトや異端を生み出してきました。パウロはそのような誤りに陥らないようにと論し、日常に根ざした信仰生活を送るよ

8月13日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 武山兄 高橋美姉

招詞 ゼカリヤ書2章13節

会衆賛美 聖歌392

会衆賛美 大いなる方に(週報4面)

主の祈り

交読 詩篇121篇1〜8節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 テサロニケ人の手紙第一 1章1〜10節

説教 主の再臨を待ち望む教会 荻野泰弘牧師

聖餐式(第2礼拝)

会衆賛美 聖歌672(1, 3, 4)

献金

頌栄 聖歌376

祝祷

報告

後奏 感謝祈禱

※第1礼拝は、礼拝後に聖餐式

【招詞(主の招きのことば)】

ゼカリヤ書2章13節
「すべての肉なる者よ、主の前で
静まれ。主が聖なる御住まいから
立ち上がられるからだ。」
アーメン



【本日の予定】

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科礼拝 3階 11時

■ホザナ礼拝 6階 11時

■バイブルカフェ

談話室 12時15分〜

■拡大会長会 3階 13時半〜

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 司会者
受付 司会者
配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
1階 司会者
2階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 司会者
会場 司会者
受付 司会者

【次週の礼拝】

〔説教者〕 荻野牧師
〔聖書箇所〕 マルコの福音書
4章35〜41節
嵐の中で共にいる
イエス様

【お祈りください】

*8/22(火)〜23(水)

第65回霊修会

会場 Y M C A 東山荘(御殿場)
講師 林正弘師
インマヌエル綜合伝道団
船橋教会主任牧師、聖宣神学院院長

・本日、霊修会参加者には「しおり」を配布しました。内容をご覧ください。さり備えてご出席ください。

・参加をご希望の方は登録係か牧師までお知らせください。

*8/25(金)〜26(土)

小学科キャンプ(蒲田・茅ヶ崎連合) 会場 箱根高原ホテル

天候が守られてプログラムが滞りなく進むようにお祈りください。子どもたちがケガや病氣、過ちから守られるようにお祈りください。また、スタッフの霊肉が支えられるようにお祈りください。キャンプは心身ともに消耗します。

【今後の予定】

*ミモザ会・オリブ会

取手シオン訪問
8月27日(日)

ミモザ会とオリブ会の合同で、新会堂となった取手シオンを訪問し、礼拝に出席します。思いのほか参加者が多くて感謝です。車と電車で別れて出かけます。取手メンバーとの良き交わりとなるようにお祈りください。

***創立89周年記念礼拝**

9月3日(日)
第1礼拝、第2礼拝共に行います。
ここに教会が立てられていく恵みを覚えて、共に主に感謝をささげましょう。

■ホザナキャンプ報告

今回のキャンプテーマは「神様と5G接続」。講師の野尻先生はテーマから、神様と自分と他者との正しい関係「愛の正三角形」を示しながら、神様や他者とのつながりの大切さについてお話しくださいました。とても分かりやすくメンバーもよく耳を傾けていました。会場の聖宣神学院はシオン教職者と野尻先生の母校で、そのような場所でシオンの若者たちがキャンプを行えたことは感慨深いものがあります。食事の支度は自分たちで行わなければならず、教職者が裏方を務めてキャンプを支えました。パーベキューは熱中症を警戒して教職者とスタッフが屋外で肉を焼き、メンバーは涼しいところで炭焼きのお肉を楽しみました。キャンプファイヤーも行い、バイブルキャンプが4年ぶりに帰ってきたことを実感。楽しく恵まれたキャンプでした。お祈りを感謝します。

